



令和3年度決算報告
一般会計歳出額は

70億986万円

令和3年度 特別会計決算額、町の貯金と借金

特別会計とは、特定の事業を行う場合に特定の収入を特定の支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。令和3年度の特別会計決算額は、歳入18億3,218万円、歳出17億9,705万円です。詳しくは下記の表のとおりです。

(単位：万円)

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険	12億7,679	12億5,460
後期高齢者医療	3億1,059	3億504
診療所事業	9,660	9,393
町営浄化槽整備推進事業	1億4,820	1億4,348
水道事業特別会計		
水道収益的収支	4億1,166	3億2,560
水道資本的収支	4,856	1億6,208

(単位：万円)

町の貯金と借金 (令和3年度末)		
基金(貯金)	財政調整基金	22億1,107
	地域振興基金	11億2,987
	その他の一般会計基金	6億6,999
	特別会計基金合計	1億2,016
	基金合計	41億3,109
地方債等(借金)	一般会計	84億5,516
	水道事業特別会計	10億8,682
	町営浄化槽整備推進事業特別会計	2億8,930
	地方債等合計	98億3,128

令和3年度一般会計・特別会計の決算が町議会9月定例会で承認されました。

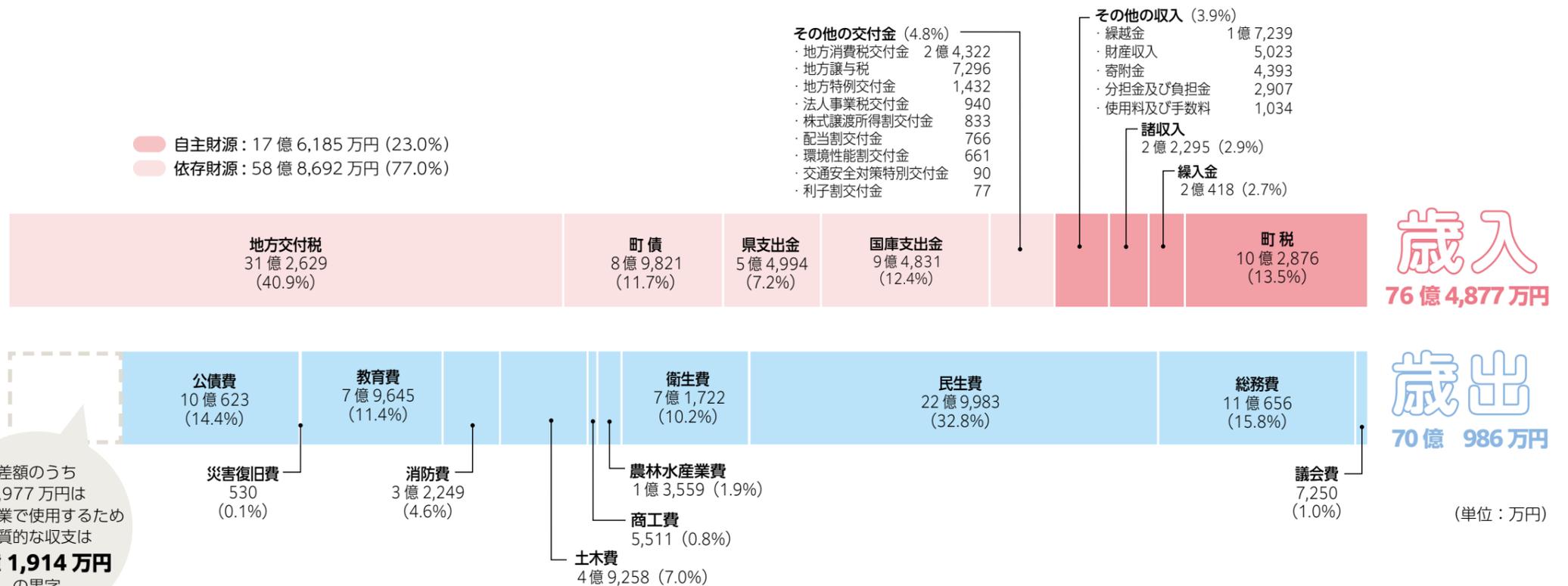
当初予算62億1,952万円でスタートした令和3年度一般会計決算は最終的に歳入が76億4,877万円、歳出は70億986万円。歳入から歳出を差し引くと6億3,891万円の黒字ですが、そのうち令和4年度へ繰り越す事業に必要なお金が1,977万円ある

ので、実質的な収支は6億1,914万円の黒字決算であり、そのうち3億5,000万円を財政調整基金に積み立てました。そのほか、特別会計においては左の表のとおりです。

それでは、令和3年度の一般会計決算状況をお知らせします。
(予算額・決算額は、千円単位を四捨五入しています。)

令和3年度の主なまちづくり事業

総務費	
紀の宝プレミアム商品券発行事業	4,939万円
紀の宝お食事券発行事業	2,425万円
結婚新生活支援事業	268万円
民生費	
鶴殿保育所建設事業	3億3,844万円
子育て世帯への臨時特別給付金事業	1億5,450万円
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	1億4,150万円
衛生費	
予防接種事業	4,708万円
がん検診・健康づくり健診等委託事業	1,160万円
妊婦個別検診委託事業	670万円
農林水産業費	
木造住宅建設促進対策事業	750万円
新規就農者補助事業	300万円
商工費	
屋外電光掲示板設置事業	1,673万円
空き店舗再生事業費補助事業	129万円
土木費	
道整備交付金事業	2億5,863万円
社会資本整備総合交付金事業	8,242万円
建物解体助成事業	550万円
消防費	
成川高台防災公園トイレ整備事業	1,350万円
地下式防火水槽設置事業	803万円
教育費	
矢刈中学校大規模改修事業	3億2,549万円
給食センター連続炊飯システム購入事業	704万円



民生費が全体の約33%

歳出総額は70億9,866万円で、目的別経費で見ると、鶴殿保育所建設事業や児童手当、福祉医療費助成制度などの民生費に充てられる費用が一番多く、歳出全体の32.8%を占める22億9,983万円でした。続いて多いのが新型コロナウイルス関連経済対策事業や結婚新生活支援事業などの総務費で、全体の15.8%、11億6,566万円でした。

地方交付税が全体の約41%

歳入総額は76億4,877万円です。歳入を町税や諸収入など町が自主的に確保することができる自主財源と地方交付税や国・県補助金など国や県から町に対して、交付されたり割り当てられたりする依存財源に大別し比較すると、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が77%と全体の約3/4を占めています。依存財源のうち、地方交付税などが前年度より増額したため、依存財源の割合が17%増加しています。また、町税収入などの自主財源は23%で、全体の約1/4です。

自主財源の中で最も多いのが町税収入で、10億2,876万円。町民一人当たりの負担は9万7,903円(町税の総額を令和4年3月31日現在の人口で割ったもの)です。

一方、依存財源で最も多いのが地方交付税で、31億2,629万円、歳入全体の40.9%を占めています。また、事業を進めるために国などから借り入れる町債は11.7%、8億9,821万円です。